

第2回 賀茂大橋デザイン検討会議

前回からの継続検討事項

デザイン検討対象施設 デザイン案(2) (道路照明)

石製高欄の嵩上げ方法について

賀茂大橋東詰の交差点について

平成27年2月12日

京都市建設局橋りょう健全推進課

デザイン検討対象施設 デザイン案(2)

道路照明のデザイン案

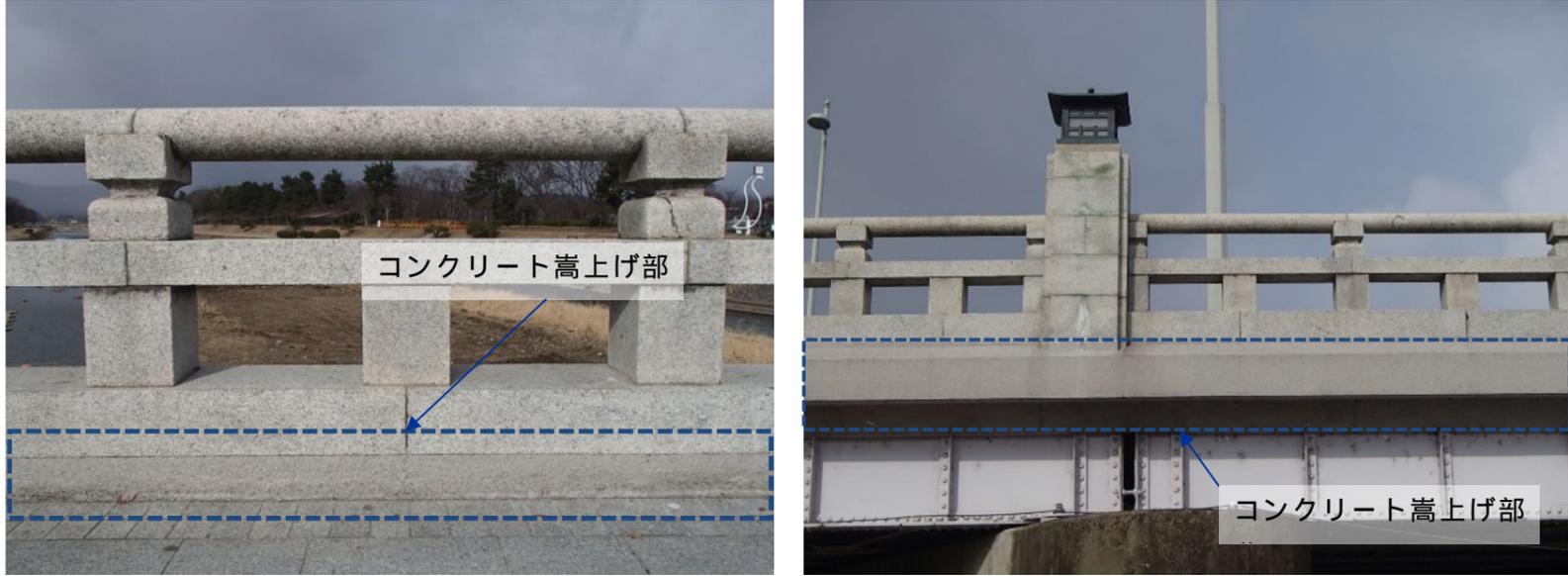
- 【前提条件】 ・車道及び歩道上の照度を確保する。灯具はLEDとする。
 【事務局案】 ・橋上景観を阻害しないスレンダーでシンプルなデザインとする。

B 案		B' 案		C 案	
 		 		 	
柱形状	円形柱	八角柱	八角柱	八角柱	八角柱
デザイン	最もシンプルで、主張しないデザイン。 背景の東山への眺望を重視した形状。	シンプルで、主張しないデザイン。 背景の東山への眺望を重視した形状。			現在ついている、旧市電柱の柱頭をモチーフにしたデザイン。 市電が通っていた橋の照明灯として使用する(北大路橋で採用済)。

石製高欄の嵩上げ方法について

【前提条件】 現況の石製高欄は高さが 1.0m であり，安全確保のため，高さを 1.1m にする必要があり，現況の石製高欄を嵩上げすることで，高さの基準を満たすようにする。

【事務局案】 嵩上げ方法はコンクリートに擬石調塗装を施したものと，石による嵩上げを比較する。

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">コンクリート + 擬石調塗装</p>	 <p style="text-align: center;">写真：北大路橋</p>	<p>[特徴]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・橋の形状に合わせた成形が可能。 ・擬石調塗装は既設本御影石の色合いに合わせた調合が可能。 ・コストが安くできる。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">石</p>	 <p style="text-align: center;">写真：高瀬川御池橋</p>	<p>[特徴]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品格がある。 ・コンクリートよりも，高さの調整等の取扱いが難しい。 ・全く同じ素材ではないため，微妙に色調が異なる。 ・コストが高い。

賀茂大橋東詰の交差点について

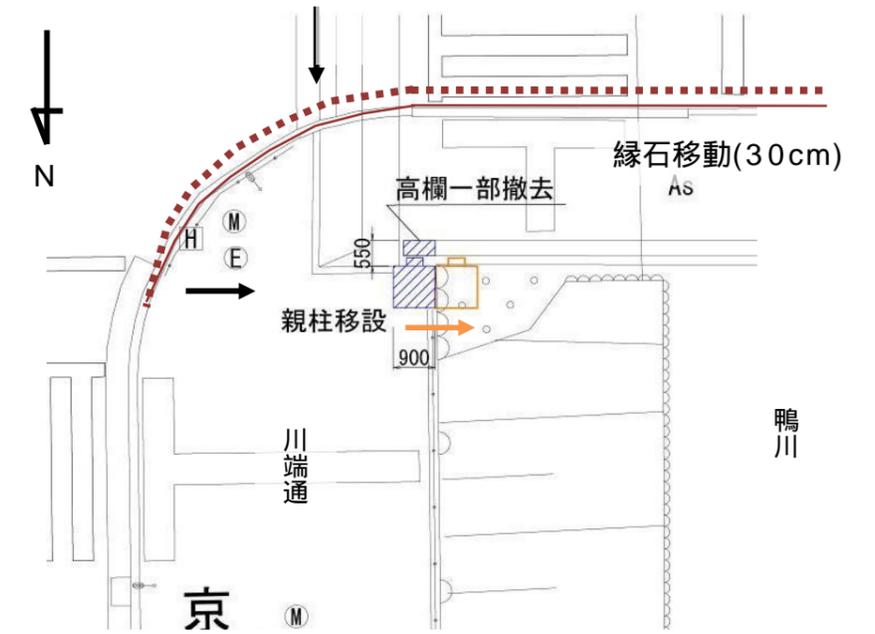
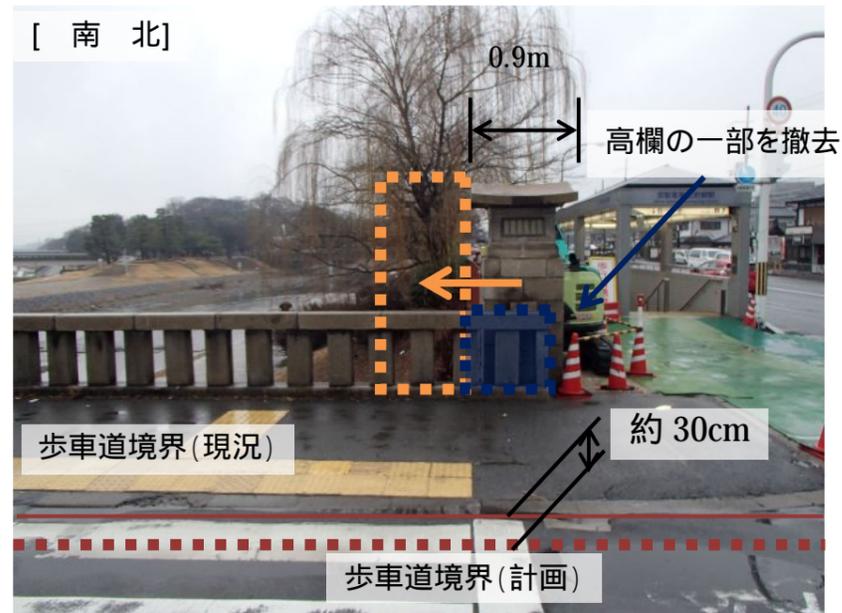
【事務局案】 川端通の歩道空間を広げるために、親柱を川側（西側）に移動することを検討（河川管理者と協議を進めて行く）

【交差点北側】

[西 東]

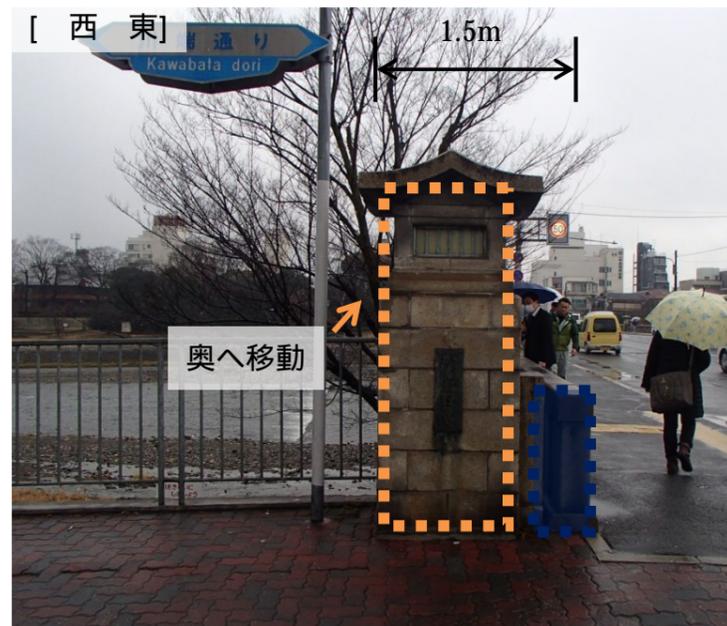


[南 北]



【交差点南側】

[西 東]



[北 南]

